



最新のコロニー管理

概要

ニューヨーク市にある大手バイオテクノロジー企業は、研究活動に不可欠な複数の複雑なトランスジェニックマウスシステムを管理していました。この企業は自社の動物施設を持っていなかったため、動物の収容と飼育ケアを行っている地元の動物施設からコロニー用のスペースを借りていました。

状況と課題

コロニーが拡大するにつれ、ラボから離れて、繁殖管理に必要とされる日常業務を処理する時間が増えていきました。ある常勤の科学者は、交配のセットアップ、プラグの確認、PCR 検査のための組織サンプルの採取、複雑なシステムの繁殖を記録するために、その動物施設との往復に多くの時間を費やしていました。このような記録を自動化して過去の繁殖データにすぐにアクセスできるようにしたいという強い思いもありました。

解決策

この企業は、より良い解決策を求めて、マサチューセッツ州ウィルミントンにあるチャールス・リバーの遺伝子改変モデル&サービス (GEMS) 施設にいくつかのシステムを移動することを決定しました。オンデマンドで希望するケージを簡単に自分たちの所に送ってもらえることを知っていたからです。2つの施設間のコロニーの移動は切れ目なくスムーズに実行されました。この企業にはチャールス・リバーから担当プロジェクトマネージャーが割り当てられ、当社のインターネットコロニー管理システム (ICM™) の使用にすぐに慣れることができました。このシステムにより、世界中のどこからでも動物のコロニーとデータを管理するための24時間アクセスが可能になったのです。

結論

この企業は、チャールス・リバーが提供するサービスは、出荷、安楽死、交配などの単純な業務を実行し、文書化するためのコロニー管理サービス以上のものであることに気付きました。それは、自分たちが研究に充てる時間を増やすソリューションにもなったのです。この企業は現在、70以上の進行中のシステム/プロジェクトを収容するためにチャールス・リバーを利用しています。これらの動物はアイソレーターに収容されているため、バイオセキュリティのリスクを軽減するという更なるメリットも享受しています。